

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：ジョナサンB.マジアベ / ガバナー：高山 孝

会長：湯本茂作 / 幹事：小林一好

クラブ会報委員会

委員長：石渡健司 / 副委員長：大谷浩一
委員：真貝俊英、諸貫健一

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

2003～04 国際ロータリーのテーマ
「手を貸そう」



Lend a Hand

第1880回 例 会 (6月19日)

第6回白河・行田児童交流会例会

今例会は、白河から招いたこどもたち24名と、
行田市立中央小学校の児童23名による交流会でした。



会場の湯本ホテルグランドには、さきたま火祭りの産屋・かがり火スタンドなどが設置され、5時過ぎには会員などがカレーライスで腹ごしらえをして開会の時を待ちました。

- ・6月21日の夏至を目前にした一番日の長い時期の晴れた日なので、6時半を過ぎてはまだ明るい状態でしたが、湯本会長、山本憲作会員等運営役員は開始前最後の入念な打合せを続けておりました。
- ・ようやく薄暗くなりかけた7時過ぎ、第2回ミニ火祭りが開始されました。



19:03、湯本会長の「かがり火点火」の号令のもと、担当（森島会員）が4基のかがり火に次々に点火し、火祭りの舞台準備が整いました。

- ・湯本会長「たいまつ点火」の合図で、40余人のこどもたちのたいまつに火がともされ、雰囲気は一気に高まりました。



祭りの白衣の裾には鮮やかな2本の赤線が入り、金色の帯を結び、頭には黒字に赤のヘアバンドをつけ、古代人の姿に扮したこどもたちの表情は、やや緊張気味でした。

6人のたいまつを持つこどもに先導され、8人の大人（会員）が担ぐ「コノハナサクヤ姫」の蓮台（輿）が進み、次に又、6人に先導されて「ニニギノ尊」の乗る蓮台が進みます。

- ・その後、たいまつを持った残りのこどもたちが続き、闇の中に炎のゆらめきが流れ行く幻想的な眺めに、周りで見守っていた人たちの間から感動の声が聞こえました。
- ・左回りに産屋を1周した行列は、円陣をつくって止まると、中央の産屋が厳かに照らし出されました。





蓮台から下りたこども扮する「コノハナサクヤ姫」と「ニニギノ尊」の二人が、手にしたたいまつで産屋に点火すると、わらで造られた小屋は瞬く間に、5・6メートルもの炎をあげ辺りを明るく照らし出しながら勢いよく燃え上がり、感動のどよめきを生じました。火祭りのクライマックスの場面です。

こうして開始からちょうど30分ほど、最後を花火の打ち上げで締めくくられたミニ火祭りは終了しました。



白河・行田のこどもたちは、この後8：30までゲームなどして解散となりました。将来を担うこどもたちの心に、両市の親善を深める明るくあたたかな火をともして今宵の例会は無事終了しました。

その後の白河クラブ代表者と共に行われた懇親会も和やかに進められ、次の交流での再会を約し散会しました。

出席報告

正会員数	73名	内義務規定出席者	3名
出席免除者	12名	メイクアップ	3名
本日の出席者	34名	出席率	55.74%